

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

### 1 学力調査に関する結果の概要

#### 【国語】

- 目的に応じて集めた資料を整理し、伝えたいことを明確にすることができている。
- 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができている。
- 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができていない課題がある。
- 読み手の立場に立って語句の用法、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることに課題がある。

#### 【数学】

- 素数についての知識が身に付いている。
- 角の大きさを求める問題がよくできている。
- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。
- 統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について証明を評価・改善することに課題がある。

#### 【理科】

- 物理的な法則を理解し、実生活に応用できる力が付いてきている。
- 考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明することに課題がある。

### 2 児童〔生徒〕質問紙に関する結果の概要

- 自分にはよいところがあり、先生から認められていると回答している生徒の割合が多い。
- 自分の困りごとや不安があるときに、先生に相談できると回答している生徒の割合が多い。
- 授業の中や学校以外での勉強のためのタブレットの使用時間が短い。
- 家庭学習の時間が30分未満と短く、学習習慣が十分に確立していない生徒が見られることが課題である。

### 3 評価と今後の取組

#### (1) 教科に関する取組

##### ① 効果があつた取組

- ・国語科の授業の中で、入試の作文問題に関連した、与えられた条件に従って原稿用紙に作文する活動の実施
- ・数学科における週に一度授業の中で行う小テストの実施
- ・理科の毎時間実施している5問テスト

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・読む習慣や落ち着いて問題を解く習慣を身に付ける国語科の授業改善
- ・授業やテストで記述する機会を増やし、用語を使って説明する力を身に付ける数学科の授業改善
- ・理科では毎時間の5問テストと単元テストの振り返りの実施

#### (2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

##### ① 効果があつた取組

- ・教師と生徒との対話を重視し、積極的に評価することで、生徒の自己肯定感を高める取組
- ・生徒理解、生徒支援に関する校内研修の実施

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・教師の授業におけるICT活用力を高めるための校内研修の実施
- ・ミライシードを活用した課題の定期的な配信